

令和2年5月13日

大分市長  
佐藤 樹一郎 様

大分県社交飲食業生活衛生同業組合  
理事長 佐藤昭次郎

### 新型コロナウイルス感染症に関する要望書

日頃より市民生活の向上に向け、ご尽力される貴職に敬意を表します。  
また当業界には常日頃よりご指導を賜り御礼申し上げます。

さて、終息が見えない新型コロナウイルス感染症に対して緊急事態宣言の発出は、夜の街からは人が消え、当組合員店舗も殆どが休業状態です。このままでは多くの店が数か月で廃業せざるを得ないような厳しい経営状況となっております。感染症が終息して経済活動が始まる時に働く場所が無ければ復興はあり得ません、是非とも生活衛生業にご支援くださるよう緊急に要望いたします。

#### 1、事業継続のため補助金の創設と手続きの簡素化

緊急事態宣言発出による自粛要請により休業を続けている組合員の多くが日本公庫等の金融機関から融資を受けて耐え忍んでいます、店を継続するのも、そろそろ限界です。以下を要望としてもお願い致します。

- ・売上が大幅に減少した飲食店に対し、経営が安定するまでの間、経営と雇用を維持するための助成金制度を創設
- ・既に施行されている家賃補助等の手続きの簡素化や早期審査・入金の実施

#### 2、水道料金の免除の方式について

大分市が実施している水道料金全額免除は有り難いのですが、私共、飲食店は飲食ビル等にテナントとして入っています、飲食ビルは個別に水道メーターはつけてない所が殆どで家賃込になっており、折角のご厚意を受けられませんので免除の方式を変えていただければと思います。

(賃貸借契約書の添付で家主に免除しその店の家賃に水道料金をいれない等々・・・の方法があるかと思います)

また、免除期間の延長もお願いいたします。

### 3、「接待を伴う飲食店」への自粛要請について

私共の社交飲食業生活衛生同業組合は「接待を伴う飲食店」の組合でもあり、大分を代表する観光資源、都町、府内町、中央町の繁栄と共に生きてまいりました。今、多くの店の灯りが消えようとしています。

自粛要請解除がいつになるのか先の見えない不安な日々を過ごしています。

- ・自粛要請解除基準の策定
- ・長引く自粛要請に対する助成金制度の早期創設

### 4、三密を防ぐため店舗改装の助成を

休業要請が解除されても密閉、密集、密接を避ける営業を強いられるわけで営業許可のガイドラインの作成、告知とその為に店舗改装の必要性が出る営業者への助成をお願い致します。

### 5、従業者が感染した場合の対処に関するマニュアル策定を

社交飲食業（バー、クラブ、スナック、ライブハウス、飲食店等）の従業者が新型コロナウイルスに感染した場合に、事業を継続するための業種ごとの対応マニュアルの作成をお願い致します。

### 6、社交飲食業の従業員に対する対策

夜の街の職場は小規模・零細事業者で社会保険等の保証がない事業所が殆どで、店が潰れば失業保険もありません、この人たちに支援・助成制度を講じるとともに、雇用保険に代わる共済制度の創設など新たなセーフティネットの構築が有れば広く周知、相談指導をお願い致します。

以上よろしく願い申し上げます。